

第6学年 社会科学習指導案

授業者 1組 前川 恭子
2組 石飛 彰太

1. 単元名 「世界に歩み出した日本」

2. 単元の目標

日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きを理解し，我が国の国力が充実し，国際的地位が向上したことや，それによって人々の生活や社会が変化したことがわかるとともに，それらにかかわる人物の願いや働きを考えようとする。

日清・日露戦争，条約改正，科学の発展やそれらにかかわる人物の働きから学習問題を見いだし，調べたことをまとめ，我が国の国力が充実し，国際的地位が向上したことやそれらにかかわる人物の願いや働きについて思考・判断したことを表現する。

3. 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての 知識・理解
①世界の中での日本の立場について関心を持ち，それがどのように変化していくのか考えようとしている。	①日清・日露戦争によって，日本が世界から認められるようになり，国際的地位が向上したことについて調べ，調べたことを関連づけて考え，表現している。 ②日本の国力の充実や国際的地位の向上について，人物の働きや思いと関連づけ，どのように社会が変化したか考え，表現している。	①条約改正にかかわる人物の働きについて，図や年表，その他の資料を活用して必要な情報を集め，読み取っている。	①日清・日露戦争後の朝鮮の植民地化，条約改正，科学の発展などによって，我が国の国力が充実し，また国際的地位が向上し，さらに人々の生活や社会が変化したことを理解している。

4. 単元の構想

○本単元は，小学校学習指導要領社会科第6学年の目標(1)(3)及び内容(1)のクを受けて設定した。本単元では，明治維新以後，近代化を進める日本が，陸奥宗光の働きなどによる領事裁判権の撤廃，日清・日露戦争での勝利，小村寿太郎の働きなどによる関税自主権の回復，また，医学・物理分野での研究成果などにより，日本の国際的地位が向上していったことを扱う。国内外の動きや関係性は複雑であるが，様々な資料を活用して調べ，考えを話し合うことで，子どもの興味・関心を引き出し，それぞれの事象を広い視野で捉えることができると考える。

○単元を進めていくにあたって，全体を不平等条約の撤廃や日清・日露戦争，韓国併合などによる外国との関係の変化と産業の発展による社会の変化や民主主義の意識の高まりといった国内の社会の変化とに分け，子どもが外国との関係の変化・国内での社会の変化という2つの側面から，明治時代の近代化のあゆみを整理し，多面的に明治政府の国づくりについて習得できるように単元構成を工夫した。また，明治維新からはじまった国づくりの方針が昭和にかけて続くことから，日本の発展を継続して捉えさせるために，前単元の学習課題「明治の国づくりによって日本はどう変わったのだろう」をもとに，中心学習問題を「日本の立場は，世界の中でどのように変わっていったのだろう」と設定したい。

指導にあたっては，毎時間の導入場面で風刺画を中心資料として提示し，読み取る活動を設定したい。風刺画は，当時の社会の様子や背景などが表現されており，子どもがいろいろな角度から読み取ることができる教材であると考え。そうすることにより子どもの関心を高め，意欲的に課題を追究していくことができると考える。

5. 単元指導計画 (全7時間)

過程	時数	○主な学習活動	資 料	評 価 規 準
つかむ	1 本時 ①	○西洋クラブの風刺画をもとに当時の日本の立場を考え、学習問題をつくる。	○風刺画① ○世界の勢力分布図	風刺画から、世界の中での日本の立場を話し合うことで、その変化について考えている。 【思考・判断・表現】
調 べ る ・ 考 え る	2	○ノルマントン号事件の風刺画から、不平等条約の不利益を読み取り、条約改正に向けた陸奥宗光の願いや働きを話し合う。	○風刺画② ○条約改正にいたるまでの年表 ○陸奥宗光の国会での演説	不平等条約が日本にもたらしていた不利益や条約改正に取り組んだ陸奥宗光の願いや働きを、風刺画から読み取っている。 【観察・資料活用の技能】
	3 本時 ②	○風刺画から朝鮮をめぐる、日本、ロシア、中国の関係を予想し、日清戦争や日露戦争の様子を調べ、世界の国々との関係の変化を話し合う。	○風刺画③ ○日清・日露戦争の地図 ○賠償金、戦費、戦死者数のグラフ	地図やグラフから4つの国の立場に分かれて話し合うことで、2つの戦争に勝利したことが、日本の世界における地位向上につながったことを考えている。 【思考・判断・表現】
	4	○写真等から日本が朝鮮の人々に何をしたのか、それを朝鮮の人々はどう思ったのか考える。 ○日本が朝鮮を植民地にしたことや不平等条約の改正を通して日本の立場はどのように変わっていったのか話し合う。	○朝鮮学校の写真 ○領土の地図	写真や地図から日本が朝鮮を植民地とし、朝鮮の人々を傷つけたこと、小村寿太郎が条約改正を果たし、欧米諸国と対等な関係を築いたことを理解している。 【知識・理解】
	5	○医学や物理の分野など、世界で活躍した日本人について調べる。 ○世界で活躍した人物の業績によって、日本の立場がどう変わっていったか考える。	○人物の絵図 ○資料集	絵図や資料から医学などの分野での活躍が日本の国際的地位の向上につながったことを理解している。 【知識・理解】
	6	○産業の発展によって、人々の生活や社会がどのように変化してきたのかを話し合う。 ○写真から人々の民主主義への意識の高まりを考え、様々な権利を主張する運動について調べる。	○デモの写真 ○人物の絵図	産業の発展が、様々な面で人々の生活に変化をもたらしたことを理解している。 【知識・理解】
	まとめる	7	○明治時代の国づくりがどこまで進んだのか学習したことをもとに考え、話し合う。	○これまでの学習で使った資料

6. 知識と問いの構造図「世界に歩み出した日本」(計7時間)

【学習指導要領との関連】

目標
 (1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。
 (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地誌、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。
 内容
 大日本帝国憲法の発布、日清・日露の戦争、条約改正、科学の発展などについて調べ、我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること

【概念的知識】 (単元を通して獲得させたい知識)

日清・日露戦争、条約改正や産業・科学の発展によって、我が国の国力が充実し、国際的地位が向上した。また、国内では産業の発展による環境問題や社会問題が発生したことで、人々の民主主義への意識が高まった。

【中心学習問題】 (単元を方向づける問い)

日本の立場は、世界の中でどのように変わっていったのだろうか。①

第1次 (計5時間)		第2次 (計1時間)		第3次 (計1時間)							
<p>前単元「明治の国づくりを進めていった人々」</p> <p>『五箇条の御誓文』より</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「みんな」 ・大日本帝国憲法 ・選挙法 <p>○「よくないとき」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四民平等 <p>○「世界に学ぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・殖産興業 ・留学生 ・憲法制定 	<p>【具体的知識】 (獲得させたい知識)</p> <p>日清・日露戦争に勝利したこと、条約改正を成し遂げたことにより、日本の国力が充実し、国際的地位が向上した。</p>	<p>【問い】</p> <p>日本と西洋クラブは、どのようにならうか？</p> <p>→ 中心学習問題</p>	<p>【用語・語句】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米諸国 	<p>【本時】 <6年2組></p> <p>明治の国づくりによって日本は、近代化を進めてきたが、欧米諸国からは、まだ対等な立場だと認められなかった。①</p>	<p>【本時】 <6年2組></p> <p>日本と清(中国)・ロシアは、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本の立場は世界の中でどのように変わっていったのだろうか。</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>
	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>						
	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>	<p>【本時】</p> <p>2つの戦争を通じて、日本は、朝鮮半島をめぐって対立を強めたが、朝鮮の人は独立運動を続けた。小村外相が不平等条約の改正に成功して関税自主権を回復させ、欧米諸国とは対等な関係を築いた。④</p>						

【問題解決的な学習の過程】

つかむ

調べる、考える

まとめる

7. 本時の学習① (1 / 7時間) (6年2組)

(1) 本時の目標

明治維新後、近代化を進めてきた日本と欧米諸国との立場の違いを考え、今後どのように変化していくか考えることができる。 【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

過程	主な学習活動と子どもの反応	教師の支援 (○) と評価 (☆)
つかむ	1. これまでの学習をふりかえる。 2. 本時の学習問題を確認する。	○明治の国づくりがどこまで進んできたのか確認するために、絵図を用いて前単元をふり返り、本時の学習問題を考える手がかりとする。 ○風刺画を提示することから、子どもがこの時代の社会の様子や国の立場などを考えやすくする。 ○日本と西洋クラブ、それぞれの考えを話し合うことで、日本と西洋クラブの立場の違いを理解しやすくする。 ☆風刺画から、世界の中での日本の立場を話し合うことで、その変化について考えている。 【思考・判断・表現】
調べる・考える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">日本と西洋クラブはそれぞれどのようなことを考えているのだろう。</div> <p>3. 風刺画を見て、気づいたことや、考えたことを発表する。 ・西洋クラブの仲間に入りたい。 ・日本は、まだ仲間に入れてあげられない。</p> <p>4. 学習問題を考える。 ○日本と欧米諸国の関係性のとらえの違いについて考える。 ・日本は、憲法を作ったり、国会を開いたりしてきているから追いついたと思っている。 ・欧米諸国は、日本はまだ戦争に弱かったり、産業が不十分だったりしているから下に見ている。</p>	
まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><中心学習問題> 日本の立場は世界の中でどのように変わっていくのだろう。</div> <p>5. 学習のふりかえりをする。 ・軍事力を強化したり、産業や政治をさらに発展させたりして欧米諸国から認められるだろう。</p>	

7. 本時の学習② (3 / 7時間) (6年1組)

(1) 本時の目標

日清・日露戦争について話し合いを通して、2つの戦争に勝利したことが日本の世界における地位の向上につながったことを考える。 【思考・判断・表現】

(2) 本時の展開

過程	主な学習活動と子どもの反応	教師の支援 (○) と評価 (☆)
つかむ	1. 風刺画をもとに、朝鮮をめぐる中国、日本、ロシアの関係について確認する。 2. 本時の学習課題をつかむ。	○風刺画を読み取ることから、日本とまわりの国々の関係を確認していく。 ○4つの国の立場や気持ちをグループで話し合うことから、日本の地位が向上し、世界に認められてきたことを考えるように促す。 ○日本の国づくりがどこまで進んだのかという視点でふり返ることで、戦争による日本の成果と課題について根拠を明らかにしながら考えられるようにする。 ☆4つの国の立場に分かれて話し合うことから、2つの戦争に勝利したことが、日本の世界における地位向上につながったことを考えている。 【思考・判断・表現】
調べる・考える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2つの戦争を通じて、日本の立場は世界の中でどのように変わっていったのだろう。</div> <p>3. 2つの戦争の様子や結果を知り、日本や外国の人々の気持ちを考え、発表する。 ○資料から、2つの戦争の様子や結果を全体で確認する。 ○2つの戦争を通じた、4つの国の気持ちをグループで考え、発表する。 ○欧米諸国の気持ちを考え、日本の立場が世界の中でどう変わったか発表する。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p>	
まとめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">2つの戦争に勝利した日本は、領土が増え、国力も増し、外国からも認められるようになった。</div> <p>5. 学習のふりかえりをする。 ・2つの戦争に勝利したことで、強い日本を欧米諸国に見せつけて、さらに認められるようになり、立場は向上したと思う。</p>	